

# 健康産業新聞

THE HEALTH INDUSTRY NEWS ©UBMメディア株式会社 2015

## 乳酸菌由来のヒアルロン酸、美容用途で伸長

中原

(株)中原（埼玉県さいたま市）は、美肌用途原料として、培養法を用いた2種類のヒアルロン酸を展開しており、受注量は好調に伸びている。

同社が扱う原料は、『低分子ヒアルロン酸』と『ヒアルロン酸』の2種。乳酸菌由来ヒアルロン酸90%を規格しており、『低分子ヒアルロン酸』は平均分子量が15万以下、『ヒアルロン酸』は平均分子量が50万～70万となっている。なかでも『ヒアルロン酸』は安定した材質・比重でもって打錠しやすく、またドリンク剤にも適しているという。また最近ではスティックゼリータイプへの副原料としての需要も多く、生産体制を強化している。月産で約1tの供給が可能。

同素材は、急性・慢性毒性試験、催奇性試験を動物実験で実施しており、JHFA規格に準じて全て安全確認を実施済み。加えて、エビデンス整備にも注力しており、東京・広尾皮膚科クリニックと共同で、ヒアルロン酸経口摂取による肌改善効果試験を行い、皮膚の維持形成で効果が得られるとの結果を得ている。

同社は、「アキョウコラーゲン」や「フィッシュコラーゲン」「サメ軟骨抽出物」などの原料供給のほか、大学や専門技術者と共同し、健康食品素材、原料の研究開発も行っており、各種素材を組み合わせたOEM事業、受託加工や、製品の企画、開発なども実施する。

原料から製品まで、一貫したプロデュースが強みとなっている。